**ガクチカ**

私が学生時代に力を入れたことは、インドネシアでの子ども英語学習支援のボランティア活動です。はじめは、現地の子どもたちの生活背景や価値観の違い、さらに言語の壁により、うまくコミュニケーションを取ることができませんでした。そこで、次の2つの点を意識して取り組みました。

1つ目は、チームの仲間と定期的に振り返りを行い、指導方法や現地文化への理解を深めたことです。特に、現地出身のボランティアからの助言は、自分では気づかない視点を与えてくれました。

2つ目は、「教える立場」から「寄り添う立場」に意識を切り替えることです。英語の授業では、ゲームや歌を通じて、子どもたちが楽しみながら自然に学べる環境づくりを心がけました。

その結果、子どもと信頼関係を構築し、効果的な指導内容を考えられるようになりました。参加した子どもたちの授業継続率は初回の60％から85％へと向上し、最終的に30人以上の子どもが1か月以上参加してくれるようになりました。

この経験から、未知の分野であっても積極的に挑戦し、仲間と協力しながら行動することの重要さを実感しました。